

令和元年埼玉県内の廃棄物処理業での労働災害事例

死亡災害

	発生月	事業場規模	事故の型	災害発生状況
1	7月	1～9名	火災	ガソリン携行缶のエア調整ねじと給油口を同時に開けたところ、ガソリンの可燃性ガスが一気に大気中に放出し、発生した静電気です引火し、爆発して死亡したものの。
2	9月	10～29名	有害物等との接触	リサイクル飼料の製造機械のホッパー内に入ったところ、酸素欠乏により死亡した。また、被災者を救助しようとして同所に入った同僚も酸素欠乏により死亡したものの。(2名死亡)
3	11月	100～299名	はさまれ、巻き込まれ	坂道でトラックを停車して降りたところ、ニュートラル・ギアで停車ブレーキが緩かったため、トラックが前進し始め、止めようとして立ちはだかり、胴体を轢かれて死亡したものの。

休業3月以上の重傷災害(抜粋)

	発生月	事業場規模	事故の型	災害発生状況
1	8月	30～49名	はさまれ、巻き込まれ	ペットボトルの粉碎作業中、スクリーコンベアの底のカッターに詰まった破片を除去しようとして、針金を手に巻き付けて差し込んだところ、針金がコンベアに巻き込まれ、手も巻き込まれそうになったので手を強く引いたところ、針金で指を切断したものの。
2	9月	50～99名	墜落、転落	トラック荷台の縁に腰かけて作業中、バランスを崩して後ろ向きに墜落し、頭、腰等を地面に強打したものの。
3	9月	10～29名	はさまれ、巻き込まれ	ゴミ収集車で廃棄段ボールを回収中、収集車の回転板に手をはさまれ、指を切断したものの。